



特殊詐欺被害が急増中!!!

今年8月末の、道内における特殊詐欺の認知件数は203件、被害総額は約7億8,700万円で、前年と比べると件数は106件、被害額は約5億8,600万円増加しています。

主な手口としては、架空料金請求詐欺67件、オレオレ詐欺57件、還付金詐欺36件で、被害額をみると、架空料金請求詐欺が約4億4,700万円、オレオレ詐欺が約2億2,100万円、還付金詐欺が約3,300万円となっています。

この主な3つの手口の合計は、昨年1年間の道内における特殊詐欺被害件数140件、被害合計額約5億9,600万円を1億円以上も超えています。(北海道警察本部ホームページから)

会社の通帳が入ったカバンを落とした

仕事のミスで急にお金が必要になった

年金の未払いを還付する

社会保険の過払い還付金がある

犯人



有料サイトの料金が未納で...

アダルトサイトの料金が未納で...

高齢者施設入居に関する権利が...

払いすぎた保険料の払戻金があります

架空料金請求詐欺の被害にあわないために

「架空料金請求詐欺」とは・・・

ハガキ、メール、電話で身に覚えのない料金の請求や、パソコンのウィルス除去名目などでお金などをだまし取る手口です。

その手口は、

- ・「ご利用料金のお支払いの確認がとれません。」
- ・「連絡がない場合、法的手続に移行します」

などといって、電話をかけるように仕向けてきます。



ハガキの場合

メールの場合

連絡先の番号に電話すると・・・

有料動画の未納料金が発生しています。本日中にご連絡なき場合・・・

短い期限をもうけて「支払わなければ裁判になる」などと不安をあおってお金を要求してきます。

一度払ってしまうと様々な理由をつけて、何度も要求してきます。

- 「料金は、コンビニ払いで支払って」
- 「電子マネーの番号を教えて」
- 「お金は宅配便で送って」

詐欺です!

自分の財産を犯罪から守るために

【車上ねらい（荒らし）に注意】

車の施錠中の被害が約4割を占めています。また、駐車場における被害が約6割を占めています。現金以外にも、バッグ・財布、クレジット・キャッシュカード等の被害が多くなっています。

被害にあわないために、次のことに心がけましょう。

- 車内にバッグ等の荷物を置いたままにしない。
- 明るくて管理された駐車場を利用する。
- 車は車庫等に入れて出入口を施錠する。
- 警報装置、防犯カメラ、センサーライト等の防犯機器、駐車監視機能付きドライブレコーダー等を活用する。



【自転車盗難に注意】

窃盗犯のうち、自転車盗は約2割を占めています。無施錠の被害が約半数を占めており、児童・生徒等（小学生、中学生、高校生、大学生及び専門学校生）の被害が約6割を占めています。

自転車を盗まれないために、次のことに心がけましょう。

- 短時間の駐輪でも、必ず施錠する。
- 駐輪時は補助錠を併用する（ツーロック）
- 路上には放置せず管理された駐輪場を利用する
- 自転車に防犯登録をする。



自分の身を犯罪から守るために

【強制わいせつ事案に注意】

昨年、道内で発生した子どもや女性被害の強制わいせつ事案は、夜間の発生が多く、住宅等における発生が約4割、道路・公園における発生が約2割を占めています。また、13歳未満の子どもの被害が約2割を占めています。

子どもや女性が、このような犯罪の被害にあわないために、次のことに心がけましょう。

- イヤホンで音楽を聴きながら、スマートフォンや携帯電話を操作しながらの、いわゆる「ながら歩き」はやめる。
- 夜間の一人歩きは極力避け、人通りが多く、明るい道を通る。
- 玄関に入って施錠するまで後方を見るなど周囲を十分に警戒する。



【子どもをネット犯罪から守るために】

近年、中高校生だけでなく、小学生などの低年齢の児童にもインターネットの利用が広まり、スマートフォン等からSNSを利用して児童が性犯罪等の被害にあう事例が増加しています。

子どもにスマートフォンを利用させる際は、ネット被害から守るための「フィルタリングの設定」「家庭のルール作り」をしましょう。

- フィルタリングは、年齢に応じた設定やアプリを個別に許可・制限することが可能で、18歳未満の子どもが使うスマートフォンを契約する時、保護者には子どもが使うことを申告する義務、店側にはフィルタリングを提供し設定する義務があります。
- 家庭のルールについては、日頃から家庭内でコミュニケーションをとり、子どもにインターネットの危険性を教えることや一緒にルールを作ることが大切です。

ポイント ◆家族全員で相談して作る ◆子どもにもわかりやすく、守れるルールにする
◆作ったルールは、家族全員で守る